

令和5年度 第2回手上げ型交付金事業 審査結果

No.	新規 継続	組織名	事業概要	交付決定額
		事業名		
1	新規	高山・宮野浦地域づくり協議会	高山地区にある「ヒヌラ」を昔の季節行事や現代に合った形で活用し、住民の負担にならず楽しめる活動を行う。そして「ヒヌラ」を中心に地域住民参画型プロジェクトを行い、地域内外の交流を活性化することを目指す。	2,000千円
		あきないプロジェクト		
2	新規	石城ロマンの里応援隊	石城地区の藁のマンモスが制作されて12年。今はだれからも愛されるシンボルとなっており、石城＝藁マンモスのイメージが定着している。この事業でマンモス製作の技術伝承はもちろん、マンモスに関する商品開発を行い、石城の魅力を発信し、石城を盛り上げる。	1,507千円
		IWAKIマンモスプロジェクト		
3	新規	野村地域自治振興協議会	住民自身が外部と一緒に地域の個性や価値を研究するという地域研究の新たなスタイル『当事地研究』を確立し、地域をみんなで研究することが地域の魅力の再認識につながることを示し、新たな地域活性化モデルとなる。そして、野村地域住民、とりわけ若年層にとって、研究者マインドや手法を学ぶ教育的機会とし、シビックプライド醸成につなげ、課題の解決（地域づくりへの参加、流出への歯止め、Uターン促進、対外発信）を目指す。	1,712千円
		地域の力を引き出す当事地研究「野村学」		
4	新規	野村町全7地域づくり組織	校歌にスポットを当て、各地域の住民と共にそれぞれの校歌を歌い音源化し、地域の魅力の詰まった校歌を地域で歌い繋いでいくことで、学校廃校や人口減少等により繋がりが希薄となりつつある地域住民の「地域力」を高め、校歌の意味を考え歌うことで地域の魅力を再認識し「地域愛」を育むことを目指す。	918千円
		校歌の効果で♪愛する地域を♪残してこうか♪		
5	継続	田之筋地区地域づくり協議会	田之筋地区内における生活の中での人と人のつながりの拡大、交流人口の増加を目指すため、交流を含めた勉強会やフィールドワークを開催し、地域の魅力(タノスジスタイル)を深堀していく。また、これまで組成した地域の魅力コンテンツを活用し、田之筋地区特有且つ共通的な生活・交流(タノスジスタイル)のコンセプトを構築し、地区の発展に繋げることを目指す。	803千円
		地域の生活・交流・発信のかたち「タノスジスタイル」構築プロジェクト vol.3		
6	新規	中筋地区自治振興会	地域の名産品である、こんにやく作りや紙漉き他の体験等で地域住民との交流を重ね、定期的に中筋に来てもらう機会を作り、観光だけではなく、減少している地域のイベント(秋祭りや、大門松づくり等)の関係人口として、一緒に地域づくりを盛り上げてくれる人を増やし、将来的に移住に繋げていく。	1,778千円
		地域の名産を軸とした持続可能な関係人口構築の拠点作り		
7	新規	みかめやってみん会	社会課題をテーマにした映画の上映会を実施する。映画は、社会課題をテーマにした作品があるユナイテッドピープル cinemaの年間ライセンスを取得し、開催する。上映映画のテーマに合わせてゲストを呼び、ゲストトークを実施することで、エンタメとしてだけではなく、上映後のトークや対話を通じて、学びに繋げる。	555千円
		三瓶シアター事業		
8	継続	かりとりもさくの会	「100年後も渡江地区が存在すること」を目的に、移住者の持つこれまで培ってきた繋がりを活かした事業を実施する。地域で活動を続けている学生団体ともさらに連携を深め、ワカモノ視点とヨソモノ視点を具体化し、地域住民への幸せへつなげる。	1,485千円
		渡江一家！～誕生！新家族！～		
9	新規	中川地区団体連絡協議会	持続可能な地域活動が実施できるように、学習会や地域イベントを通して今後の地域づくりを担っていく人財の掘り起こしや人財育成を実施する。今まで地域づくりに関わっていない、もしくは興味はあるが関わり方が分からない人やそもそも地域づくりって何？という人が少しでも関心を持ってもらい、地域づくりに関係する人口を増やすことを目指す。	715千円
		～地域を思うは自分を思う～ 中川 WAGAGOTO PROJECT vol.1		
10	継続	野村地域自治振興協議会	県立高校の再編が進み、野村高校の進学者数の減少が続くと、近い将来野村高校がなくなってしまうかもしれない。そこで、野村の高校生で組織するN-ジオチャレが野村高校の魅力について話し合い、多くの方に発信するとともに、地域とのつながりを強め、地域になくってはならない高校へと革命する。	715千円
		野村高校革命～のむLOVEレボリューション23～		
				12,188千円